

平成 13 年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] 街路事業 (201)
 [評価年月日] 平成12年11月21日
 [主担当部課名] 県土整備部まちづくり推進課
 [配入課名・課長名] まちづくり推進課長 野田素延

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : まちづくりの推進 (- 4)
 施策 : 快適な都市環境の整備 (2)
 総合計画の目標項目 : (関連項目) 県道の改良率72% (第1次実施計画)
 波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策 道路網の整備

2 基本事務事業を巡る環境変化 (過去、現状、将来)

過去→現在	現在→将来
○ 中心市街地の活性化のため、市街地再整備が求められており、街路整備の必要性が高まっている。 ○ 街路整備の高質化 (グレードアップ) への要求が高まってきた。 ○ 地権者意識の変化等により、短期間での用地取得が困難となっている。	○ 市街地の再整備とともに、交通バリアフリーの実現に向け、ますます街路整備に対する需要が高まる。 ○ コスト縮減を図るため、高質化の必要性を十分検討し、メリハリをつけた整備が求められる。 ○ 用地取得に要する時間、労力 (コスト) が増大していく。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 (何をどういう状態にしたいのか)

県民及び県道の利用者に対して、ネットワークとしての県管理道路の改良率を高めるとともに、市街地面積当たりの街路整備密度を高め、市街地内の利便性、快適性、安全性を高める。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 (総合計画の目標項目には * を付す)

指標名

街路整備密度 (代替指標 = 県管理都市計画道路改良率)

指標式

$$\frac{\text{市街地内の幹線・補助幹線街路の整備延長 (km)}}{\text{市街化区域面積 (km}^2\text{)}}$$

(代替指標式)

$$\frac{\text{改良済み県管理都市計画道路 (換算) 延長 (km)}}{\text{県管理都市計画道路延長 (km)}}$$

変更した場合の成果指標名・成果指標式

変更なし

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 (指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

街路整備の長期的な目標としては、国・県・市町村が管理する都市計画道路を合わせ、市街地 1 km² 当たり 2.6 km の幹線・補助幹線を整備することとしている。(21世紀初頭における街路整備密度 2.6 km / km²)

また、県管理の都市計画道路については、道路整備10箇年戦略により整備目標を設定しており、この計画に基づく達成度を測るため代替指標を設定した。

なお、道路整備10箇年戦略に基づく平成19年度の県管理都市計画道路の目標改良率は 58.1% である。

3-(4) 結果 (施策における2010年度の目標)

だれもが快適で安心して暮らすことができるよう、災害に強く、快適性、利便性をもち、自然環境と調和した美しく魅力あるまちづくりが進められ、豊かな生活環境が創造される。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

快適な都市環境の形成を図るため、交通処理機能のみでなく、防災、環境機能を重視した県内各都市の緊急課題に対応する街路整備を推進した。

前年度に残った課題

事業遂行のための地元調整、用地取得に要する時間、労力（コスト）が増大しており、迅速な用地取得の実現に向け、関係市町村の協力はもとより、用地取得のための体制の整備・強化及び的確な人員の配置が必要である。

4-(2) 本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

快適な都市環境の形成を図るため、交通処理機能のみでなく、防災、環境機能を重視した県内各都市の緊急課題に対応する街路整備を推進する。

本年度残ると思われる課題

用地交渉が難航している箇所があり、用地取得へ向け引き続き努力していく必要がある。

5 基本事務事業の改革方向

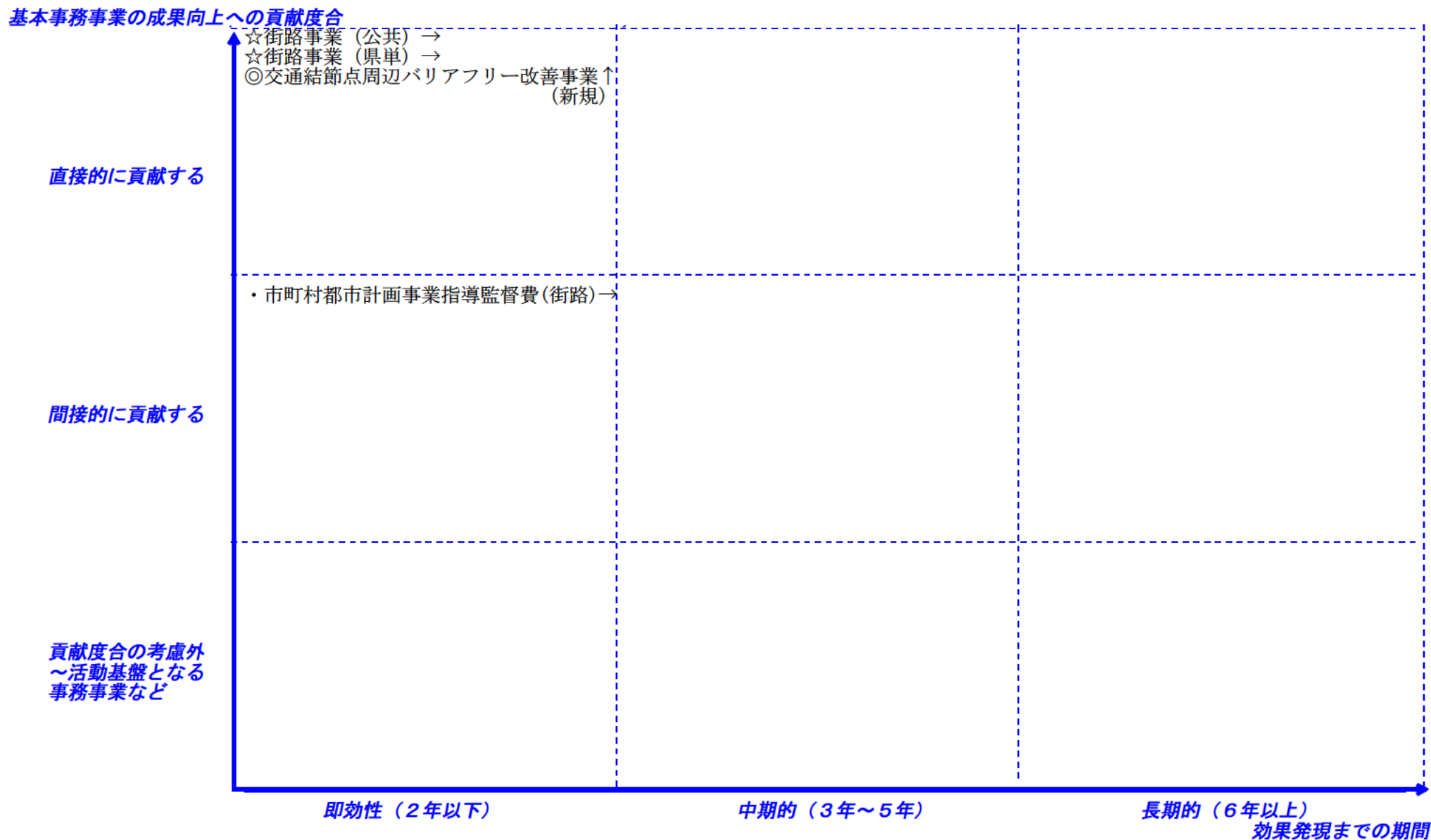
道路整備 10 箇年戦略の前期完成箇所について、重点的予算配分を行うとともに用地取得の完了に向け努力し、早期事業効果の発現を図っていく。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	
	目標	実績		所要時間(時間)	必要概算 コスト(千円)
前々年度 (H10年度)	51.7 %	52.1 %	(関連項目:国県 道改良率)69.1 %	9,846,486 64,220	10,114,926
前年度 (H11年度)	52.4 %	52.8 %	70 %	6,208,960 48,973	6,412,198
本年度 (H12年度)	53.1 %	53.4 %	71 %	5,589,886 48,000	5,791,006
本年度補正後 (H12年度)	53.1 %	53.4 %	71 %	+191,666 +200	+ 192,504
翌年度 (H13年度)	53.8 %	———	(第 1 次実施計画 H13 年度) 72 %	5,509,587 50,000	5,719,087
計画目標年次 (H19年度)	58.1 %	———		———	———

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト: ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉



8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

[illegible]